

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	海技実務Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	1108			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	後期:2		
教科書/教材	各分野に応じた参考書						
担当教員	伊藤 友仁,鎌田 功一,小島 智恵						
到達目標							
・ 商船学科として望ましい資格試験に合格する。 ・ 本科の授業等で学べない、幅広い知見を得る。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各種資格の合格（科目合格は不可）				資格試験に合格しない	
評価項目2		インターンシップ、特別講義などに参加				インターンシップ、特別講義などに参加しない	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育目標（B3）							
教育方法等							
概要		・ 商船学科として望ましい資格試験に合格する。 ・ 本科の授業等で学べない、幅広い知見を得る。					
授業の進め方・方法		・ 各種資格の合格をめざす。科目合格は不可。 ・ インターンシップや特別講義では、時流の先端となるような知見を得るようにする。 ・ 資格については各試験の合格で、インターンシップ・海外語学研修および特別講義に関しては報告書またはレポート等を提出することで単位を認定する。 ・ 講義は受講者自らが試験に必要な項目毎に問題を調査し、模擬解答をつくり発表するゼミ形式でおこなう。また、担当教員の指示があった場合はそのやり方に従う。					
注意点		・ 単位認定の手続きは、各学生の責任において行うこと。（海技士国家試験の1級筆記合格、インターンシップ、海外語学研修した者等々が単位認定の申請書を提出しなければならない。） ・ ただし、その場合、点数は一律80点である。 ・ 資格取得を希望する場合は真剣に取り組むこと。					
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	1級海技士（航海）筆記 1級海技士（機関）筆記			1級海技士（航海）筆記に合格する 1級海技士（機関）筆記に合格する	
		2週	気象予報士			試験に合格する	
		3週	通関士			↑	
		4週	貿易実務検定（B級以上）			↑	
		5週	海事代理士			↑	
		6週	第1級陸上無線技術士			↑	
		7週	ボイラ技師			↑	
	4thQ	8週	電気主任技術者			↑	
		9週	冷凍機械責任者（2種以上）			↑	
		10週	危険物取扱者（乙種）			↑	
		11週	技術士補			↑	
		12週	工業英語検定（2級以上）			↑	
		13週	インターンシップ			5労働日以上の期間を有するもので、所定の報告書を提出した場合	
		14週	海外語学研修			本校が認定したもの	
		15週	特別講義			講師を招聘できた場合に実施（15時間以上）	
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	80	80
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	80	80
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0